

スラバヤ及びその周辺における治安状況（一般的注意喚起）

- スラバヤ及びその周辺における治安状況に大きな変化は見られません。一般犯罪については、政府の外出自粛要請などの影響により、全体的な犯罪発生件数は減少しているとの数字もある一方、首都ジャカルタにおいては、外出・出勤自粛要請の結果、一部で事務所荒らしや空き巣等の侵入等が増加しているとの情報もあります。
- 4月24日からは、イスラム教のラマダン（断食月）が始まる見込みであり、例年、この期間には一般犯罪等が増加する傾向があります。これに加え、外出自粛要請等により街頭における人通りが減少していることから、街頭犯罪が増加する可能性もあり、いつも以上に注意が必要です。
- スラバヤ市政府は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、市外からの流入者に関する報告と自主検疫等に関する回章を市内地区長・アパート宛に発出しています。居所周辺との関係もご注意ください。
- 在留邦人の皆様におかれては、自宅や職場等に必要な安全対策を講ずるとともに、外出する際は、周囲の状況に注意を払い、危険を極力回避する努力を継続していただきつつ、周辺の住民との関係にもご注意ください。

1 3月上旬以降、インドネシアにおいては、新型コロナウイルス対策に伴う各種経済社会制限措置がとられていますが、現在に至るまで、スラバヤ及びその周辺における治安状況に大きな変化は見られません。また、一部食品の価格が上昇しておりますが、生活必需品の価格や燃料価格など比較的安定しており、流通も大きく滞っていません。

2 窃盗や傷害・暴行等生活に身近な一般犯罪の状況については、政府の要請を受け多くの市民が外出を自粛していることなどに伴い、インドネシア国家警察が把握する犯罪発生件数は減少しているとの数字もあり、東ジャワ州においても治安情勢は落ち着いた状態を維持しておりますが、ジャカルタ周辺では、外出及び出勤自粛要請の結果、一部で事務所荒らしや主が不在となった家屋への空き巣等の侵入盗が増加しているとの情報もあります。

3 4月24日からイスラム教のラマダン（断食月）が始まる見込みです。例年、ラマダン期間には一般犯罪等が増加する傾向があります。これに加え、外出自粛要請等により街頭における人通りが減少しており、これに付け入る形での強盗・ひったくり、スリ等の街頭犯罪が増加する可能性もあります。いつも以上に注意が必要です。

4 東ジャワ州では、社会的大規模制限措置はまだ取られていませんが、スラバヤ市は、新型コロナウイルス感染拡大を阻止するため、6日付けで町内会（RT）やアパートメントの管理者に対し回章を発出しました。回章では、市外・海外の親族等が帰省しないよう呼びかけ

るよう要請している他、帰省者や流入者があった場合には、RTの長などは24時間以内に市に通報することが義務付けられております。さらに、当該流入者とその家族に対し14日間の自主検疫を求め、体調を含め観察することとしています。

5 邦人の皆様におかれましては、自宅や職場等に必要な安全対策を講ずるとともに、外出する際は、周囲の状況に注意を払い、危険を極力回避する努力を継続していただくようお願いいたします。また、周辺住民とのトラブル防止の観点からも、最新の情報の入手に努めてください。